

介護医療保険料控除が新設されたことに伴い平成24年の年末調整は生命保険料控除の方法が変更になります

介護医療保険料控除は、平成24年1月1日以後契約した、介護・医療保障を内容とする保険契約に基づいて支払った保険料が対象になります。

各生命保険料控除の上限額とそれぞれの控除額を合算したときの上限額

1. 平成23年12月31日以前に契約した、一般生命保険料控除、個人年金保険料控除に該当（「旧契約」という。）する場合

控除の種類	控除の上限額	控除の上限額の合計の上限額
介護医療保険料控除額	40,000円	介護医療保険料控除額、一般生命保険料控除額および個人年金保険料控除額の合計額は120,000円が上限
一般生命保険料控除額	50,000円	
個人年金保険料控除額	50,000円	

2. 平成24年1月1日以後契約した、一般生命保険料控除、個人年金保険料控除に該当（「新契約」という）する場合

控除の種類	控除の上限額	控除の上限額の合計
介護医療保険料控除額	40,000円	120,000円
一般生命保険料控除額	40,000円	
個人年金保険料控除額	40,000円	

3. 旧契約と新契約が混在する場合（一般生命保険料控除または個人年金保険料控除）

旧契約の一般生命保険料控除額 または個人年金保険料控除額	新契約の扱い	控除の上限額
40,000円以上	旧契約で計算した額	50,000円
40,000円未満	新契約の控除額を加算した額	40,000円
別途、介護医療保険料控除額 がある場合	介護医療保険料控除額、一般生命保険料控除額および個人年金保険料控除額の合計額は120,000円が上限	

※ 一般生命保険料控除額または個人年金保険料控除額が40,000円以上になる場合は、支払った保険料が60,000円以上の場合です

生年月日別扶養親族等

生年月日	平成24年12月31日の年齢	控除区分	控除額
昭和18年(1943年)1月1日以前	70歳以上	老人扶養親族	同居：580,000円 別居：480,000円
昭和18年(1943年)1月2日 ～平成2年(1990年)1月1日	23歳～69歳	扶養親族	380,000円
平成2年(1990年)1月2日 ～平成6(1990年)年1月1日	19歳～22歳	特定扶養親族	630,000円
平成6年(1994年)1月2日 ～平成9年(1997年)1月1日	16歳～18歳	扶養親族	380,000円
平成9年1月2日以後	16歳未満	非該当	

本人の所得(収入)別控除等

所得	給与収入	適用される結果
他の所得と合算した所得が30,000,000円超		住宅取得控除が受けられない
給与収入20,000,000円超		年末調整ができない
10,000,000円超	収入が給与だけなら12,315,790円超	配偶者特別控除が受けられない
5,000,000円以下	収入が給与だけなら68,888,889円以下	寡婦、特別の寡婦、寡夫の要件

扶養親族の所得(収入)別控除等

所得	給与収入・老齢年金収入	控除対象の有無	
380,000円超760,000円未満	給与収入だけなら1,030,000円超1,410,000円未満	配偶者特別控除になれる	
380,000円以下	給与収入だけなら1,030,000円以下		
	老齢年金 だけなら	65歳以上 1,580,000円以下	控除対象親族になれる
		65歳未満 1,080,000円以下	